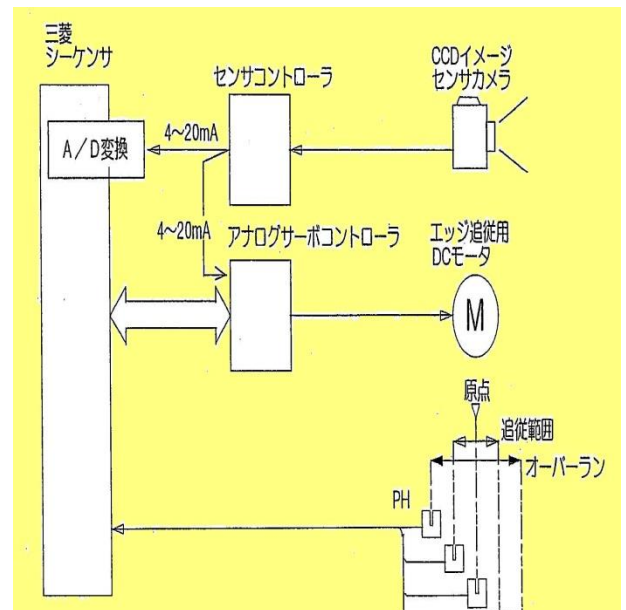
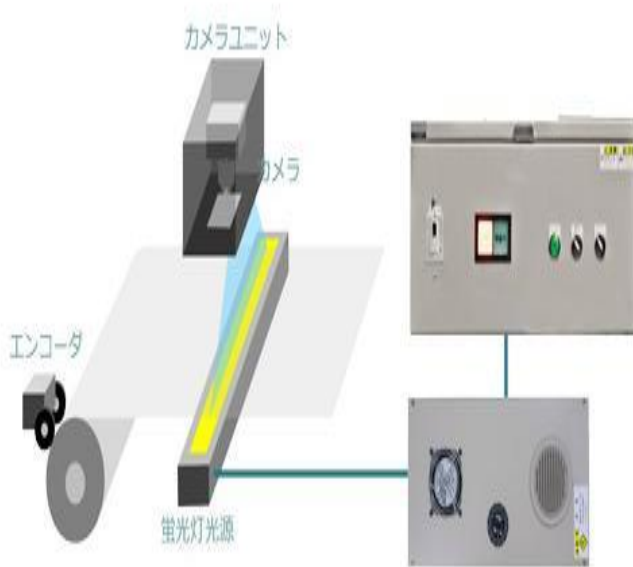


- 探傷機で検出されたコイル欠陥部位をトラッキングし、マーカ装置設置位置で、コイルエッジから1mmに欠陥のマーキングをします。
- コイルの蛇行に追従できるように従来はアナログサーボコントローラ用の専用基板を製作しておりましたが、シーケンサの高速化により、三菱Qシリーズの汎用品で構成しています。

Point !

200m/分で流れるコイルの蛇行に対して、コイルエッジから1mm以内にマーキングできるようにします。

- ① CCDカメラでコイルエッジ位置を捕らえます。
- ② プリンターヘッドが常にコイルエッジ上に来るようにDCモータで印字ヘッドを移動させておきます。
- ③ コイルの欠陥部位をトラッキングして、マーキング装置位置に来たらマーキングをします。



備考

下流工程で製品の型取りをする際、良品部分がマークで汚れないよう コイルエッジから1mm以内にマークします。

